







ノロエステ線グワ井サラ驛  
アグアベレーザ植民地小學校新築會計報告

◆收入之部

一金四コント七百五拾六ミル也  
一金壹コント百參拾ミル也  
一金四コント七ミル五百レース也  
計金九コント八百九拾參ミル五百レース也  
外に物品寄贈

日伯兩國旗

壹對

學校敷地

半アルケール

ブロミッソン町

醤油釀造元

黒島伊平治殿

附近市町村有志者より現金寄附

當日本人會員寄附

同

建築委員

福島

藤井

宮

片

林

田

岡

松

宇

太

三

郎

郎

吉

助

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

郎

アジアに光あれ!!  
モットーの下に集ふ  
アジア人青年團體結成

日比谷公會堂で發會式

非公式  
軍事參議官會議

「人類發生ニアに光あれ」を  
モットーとして松本君平氏を團長と  
する青年團體は十六日午後一時日  
比谷公會堂で發會式を行ひ、アシ  
ア民族青年代表トルコ、アフガニ  
スタン、インド、ビルマ、安南、  
インドネシア、フィリピン、支  
那、華北、滿洲人を網羅し、月山  
學校の奏樂で開會、誓言朗讀後、  
花木、永井、松岡、頭山、本多諸  
氏の演說があつた。

【東京六日】海軍省では本日午前  
十時半より海相官邸に非公式軍事  
參議會會議を開き加藤大將以下各  
參議官出席し、大角海相より明年  
度豫算の大綱を説明し、經理局長  
より種々説明あり午後一時散會し

飛行場を護る  
愛國耕作地

所澤の地主七十四名  
自發的に申し出ず

非常時愛國心の一つの現れとして  
今度空の町所澤に、愛國耕作地と  
いふ珍らしい土地が生れた  
それは同町の陸軍飛行場  
の周囲百米以内に土地を  
地主名づけることになつた旨六日  
する深井氏以下七十四名

所有者は陸軍飛行場の使用價值  
を永久に保護するため場の周囲に  
飛行機の離着陸用の墳墓となる家屋  
電柱、煙突等の新築・禁止を自發的  
に申合せ、この地域を愛國耕作地  
とする旨六日

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説

十二月八日政友會を脱離し、代議  
士をも辭職するところなく松岡  
洋右氏は同夜九時四十分東京發廣

全國的に講演を行ふ旨

郵便貯金現況

【通信省七日發表】十一月末郵便  
貯金預入員は四千八十二萬人で、  
預金額は二十八億八百二十九万  
島に赴き、十日同地で開かれた  
六縣聯合の帝國在郷軍人會  
に講演を行ふ旨

政友脫黨の  
松岡洋右氏

全國に遊説





伯人がよく「あ、い、う」Convenidoだ」といふことを口にする。Convenidoとは物事を半分呑み込み、全部知った種で、ある時々自分で言ひ表はす語である。従つて眞に便利な調法な語である。邦語では「知つてゐる語である」とか「レル」とか何かに當る語であらう。換言するところでは雅量のない性多分に含まれる。從つて、最も単純の道の専門家にものと謂れて学ぶなどいふ事はいたつて聽いていふ結論に達する。だから場合によれば可なり大きな失態を招く。以下に掲げる事はこのConvenidoによるべきと思つて、その意味を理解する一例である。一見Gamendeのままで在留民一般は勿論日本の威信に拘らず、一切罷めて實ひたといふ事は、その意味の老婆心から、應々本年度の最終號の紙面を用いて書いたものである。この點をさかん断つて置く。

× × ×  
洲問題物語以来帝國政府は壽府國際聯盟に於て折衝十有六ヶ月に亘つたが、終に満足なる解決策に到達し得ず、昨年三月聯盟退を敢行し、同月廿日附以て聯盟事務總長ドランモンド船宛正式に脱退通告を發し、同時に我外務當局は右の院退通文(英譯)を在外公使館に送り、當時内山總領事は先般國に命じて汎世界に公表せしめた、勿論市總領事館でも之を接受して各御字紙に配付した。これは周知の處である、當時内山總領事は先般國に命じて、その原文を二分し、表を徹して翻譯せしめたところが、出来上つた翻譯文なるものが頗る拙劣で「聯盟退を勧める帝國政府の公正なる見解を訊く聖文論界に開明する」に於ける聖文のものであつた。たゞ此の翻譯文は勿論の原文(及び英譯)で、それと當ててあること言へる。この翻譯文は、必ずしも原文が全く伯人語のものと比較対照して批評して見る、(C.)印は領事館支給のもの、又(E.)印は右エスターード紙の訂正によるもの。

(C.) O governo japonês acredita que a política nacional do Japão, a qual tem por objectivo assegurar a paz no Oriente para contribuir, dihi, à causa da paz em todo o mundo, é idêntica em espírito à missão da L. N., que se esforça para obter a paz e a estabilidade internacionais.

(E.) Aceitada o governo japonês que a sua política, tendo por objectivo assegurar a paz no Oriente, contribui a um para a causa da paz mundial, é identica, em espírito, à missão da S. D. N., que se esforça por obter paz e a estabilidade internacionais;

## “Convenido”排撃

高岡一生

信における、邦文の原意は「右の確立に基づいて、終始する（實行する）」である苦であるが、英語から語の恰好で直訳したものらしい。このActuaは「活動する」事が他の「影響を及ぼす」ことであつて、一人の帝国政府は日本の國策が其管東洋平和の確保なし、延いてある方向に展開することを簡単にあるは、國際聯盟が世界の平和と安定の確立に努力する使命その軌道に於けるものである。

確信するものである。

この大意は次の如くであらう。

帝國政府は日本の國策が其管東洋平和の確保なし、延いてある方向に展開することを簡単にあるは、國際聯盟が世界の平和と安定の確立に努力する使命その軌道に於けるものである。

この大意は次の如くであらう。

帝國政府は日本の國策が其管

東洋平和の確保なし、延いてある方向に展開することを簡単にあるは、國際聯盟が世界の平和と安定の確立に努力する使命その軌道に於けるものである。

この大意は次の如くであらう。

帝國政府は日本の國策が其管

東洋平和の確保なし、延いてある方向に展開することを簡単にあるは、國際聯盟が世界の平和と安定の確立に努力する使命その軌道に於けるものである。